

2019年岩手県知事選挙に関する政策協定書

2019年岩手県知事選挙に臨むにあたり、岩手県知事選挙立候補予定者・達増拓也氏と日本共産党岩手県委員会は、東日本大震災津波からの復興の取り組みと、県民の暮らしと福祉を守る県政をさらに前に進めるために、以下の政策課題の実現に向けて誠実に取り組むことについて合意します。

本政策協定に基づき、日本共産党岩手県委員会は、野党共闘の一翼を担い、達増拓也県知事選挙立候補予定者の当選に向けて全力で取り組みます。

記

1、被災者の命と暮らしを守る東日本大震災津波からの復興の課題について

- 1) 6月県議会での請願採択を踏まえ、被災者の医療費・介護保険利用料の免除措置を来年も継続実施すること。
- 2) 被災者・子どもの心のケアの取り組みを継続強化すること。
- 3) 災害公営住宅でのコミュニティの確立支援など、孤独死防止の取り組みを強化すること。生活相談支援員等の配置を継続強化すること。
- 4) 正念場を迎えている生業の再生では、仮設店舗等からの本設移行を支援し、売り上げ減少の中で借金返済を強いられている再建事業者に対し特別の支援を強化すること。

2、県民の暮らしと福祉を守る県政について

- 1) 子どもの医療費助成については、中学校までの窓口無料化（現物給付化）を早期に実現すること。
- 2) 高すぎる国保税の引き下げについては、全国知事会の提言を踏まえ、国に対し協会けんぽ並みの引き下げの実現を求めること。宮古市が実施した子どもの均等割りの免除・軽減の取り組みを県内市町村に広げること。
- 3) 県が実施した子ども実態調査結果を踏まえて、こどもの居場所確保など抜本的なこどもの貧困対策を策定し実施すること。
- 4) 県立病院の医師、看護師の増員に取り組み、安心できる地域医療の拡充に取り組むこと。

3、雇用確保と産業振興について

- 1) 高卒・大卒等の県内就職率を抜本的に引き上げる総合的取り組みを強化し、県内中小企業の雇用確保に取り組むこと。中小企業への支援を強化し長時間労働の是正と待遇改善に取り組むこと。
- 2) 地元産業と結びついた産業振興策の取り組みを強化すること。
- 3) 農林水産業を地域経済の基幹産業に位置づけ、農林水産業の再生に取り組むこと。種子条例の早期制定をめざすこと。

4、すべての子どもの権利、個人の尊厳を大切にす教育について

- 1) 国、県、市町村によるテストづけの競争主義的教育のあり方を見直し、一人一人の子どもにゆきとどいた教育を進めること。
- 2) いじめから子どもの命を守るため、教職員・保護者と情報共有し、早期発見・早期対応を徹底すること。教職員によるパワハラ、体罰、暴言等による人権侵害を許さない取り組みを徹底すること。
- 3) 教職員の異常な長時間労働の是正を図ること。教職員の大幅な増員を国に求めるとともに、業務の抜本的な削減・改善と部活動の改善に取り組むこと。

以上

2019年8月1日

岩手県知事選挙立候補予定者

達増 拓也 

日本共産党岩手県委員会委員長

菅原 則勝 